

カナダ日本語教育振興会 2012 年度年次大会  
CAJLE Annual Conference 2012

理論と実践の連携  
Bridging Between Theory and Practice

於 : Banff Park Lodge, Resort Hotel and Conference Centre,  
Banff National Park, Alberta  
8月2日～3日

—共催—

Prince Takamado Japan Centre, University of Alberta

—後援—

国際交流基金  
University of Alberta  
Alberta Education

—支援団体—

Canadian Association of Second Language Teachers (CASLT)  
在カルガリー日本国総領事館

【基調講演】

「理論と実践の間のギャップはなぜ問題なのか：課題と取り組み」  
“The Gap between Theory and Practice: Problems and Possibilities”  
畑佐由紀子（広島大学）

【教師研修】

「第2言語習得理論をもとに教師は教室で何ができるのか」  
“Applying Second Language Acquisition Theories to Classroom Teaching”  
平田好（The Japan Foundation, Ministry of Alberta Education）  
トウカー（高橋）はる代（The Japan Foundation, Toronto）

【特別展示】

「3次元仮想空間を利用した日本語・日本文化の状況的学習用プラットフォームの開発」  
“Situated Learning Platform for Japanese Language and Culture in 3D Metaverse”  
細井浩一（立命館大学）

【口頭発表】

1. 日本語物語作文におけるゼロ代名詞と「は」の使い分け ―母語話者と学習者の比較分析―  
下條光明 (University at Buffalo)  
藤原美保 (Willamette University)
2. 上級日本語学習者に対する論説文の作文指導について  
渡辺文生 (山形大学)
3. フロッグ・ストーリー創作タスクに対する日本語学習者の反応  
虎谷紀世子 (York University)
4. App Assisted Language Learning: Are Japanese Language Learners aware of these resources  
モロズ・アシュリー (University of Alberta)
5. 日本語教育に生かすデジタルストーリーテリングプロジェクト協働的対話から生まれる日本語学習  
西岡裕美 (釜山科学技術大学校)
6. 大学日本語初級コースにおける多読の試み  
脊尾泰子 (McGill University)
7. 初級における敬語表現の学習ポイントについて―形容詞を中心に「お忙しい」「お恥ずかしい」「お若い」―  
村田志保 (名古屋市立大学)
8. 日本語の音声転訛の習得 ―単音の脱落, 促音化, 拗音化に注目して―  
ボイクマン総子 (東京大学)
9. 日本語新聞におけるビジュアル要素の記述とその教育的活用の試み: 日本語教育の教材論拡大を目指して  
落合由治 (Tamkang University)
10. 日本語学習者のプレゼンテーション、インタビューにおけるポーズの特徴について  
高村めぐみ (立教大学)
11. Learners' vs. Native Speakers' Use of So-Called Interchangeable Japanese Particles  
下野香織 (University of Alberta)
12. 「原因」と「結果」の非対照性  
東條和子 (桜美林大学)
13. 日本語の無主語文  
新屋映子 (桜美林大学)

14. キャリア意識形成による日本語教育の理論と実践—台湾淡江大学の「卒業制作及び指導」授業を例に—  
曾秋桂（台湾 淡江大學）
15. 「ちゃんとやれ」：命令形の使用とその役割に関する考察  
加山裕子（University of Manitoba）
16. 「日本語の視点」から見た授受表現の導入方法について  
横田隆志（北陸大学国際交流センター）
17. 会話力を伸ばす指導に対する米国継承日本語学校教師の意識  
知念聖美、ダグラス昌子、片岡裕子（California State University, Long Beach）
18. ポライトネス理論の枠組みからみる「直言表現」と「修復方略」—日中語のコミュニケーションスタイルの一示唆—  
鄭 智恵（台湾 大同大学）
19. 課題遂行能力向上につながる学習支援者の発話  
工藤節子（台湾 東海大学）
20. 欧米系留学生の異文化社会適応のための日本語力とソーシャル・スキル  
原田登美（甲南大学）
21. 日本語学習者のための日本文学：読解指導の理論と実践報告  
柴田節枝（California State University, Fullerton）  
横田淑子（California State University, Los Angeles）
22. 文章の難易度判定システムの構築と運用実験  
川村よし子（東京国際大学）  
北村達也（甲南大学）
23. 日本語新聞におけるビジュアル要素の記述とその教育的活用の試み—日本語教育の教材論拡大を目指して—  
落合由治（台湾 淡江大學）
24. 日本語新聞におけるビジュアル要素の記述とその教育的活用の試み—日本語教育の教材論拡大を目指して—  
落合由治（台湾 淡江大學）
25. ピア・レスポンスを効果的に行うための要因  
荒井智子（台湾 大葉大学）
26. 台湾での中級日本語作文指導に「レポートライティング」導入の試み—ピア・レスポンスからみた論証スキルの形成—  
羅曉勤（台湾 銘傳大学）

27. 中級日本語学習者の学習意欲の継続を支える要因は何か—Diary studies の手法を用いて—  
村上かおり (名古屋外国語大学)
28. 体験過程理論を応用した文章表現法  
得丸さと子 (日本女子体育大学)
29. 多様な学習者に適した日本語学習教材—ラジオ日本語講座を例にして—  
孫寅華 (台湾 淡江大學)
30. 台湾の学校茶道から見た日本語学習—淡江大学の茶道部を例として—  
廖育卿 (台湾 淡江大學)